

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
 電話：74-0212 FAX：74-0105
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

地球のために、地域のために ごみの減量にご協力を 第2回おしどり学園



身近なごみ問題について興味深く聞く

5月16日、第2回おしどり学園を町公民館で開き、教養一般講座では、「廃棄物を出さない取り組みについて」と題し、役場産業振興課の柴田孝志課長による講演を行いました。

柴田課長は、まず日野町におけるごみ処理の現状について話し、平成18年度の『燃えるごみ』の焼却処分にかかった費用が4852万円、焼却処分した量は1021トンに

ぼつていることを説明しました。なんと、1トン当たり4万6924円の処理費用がかかっていることになりました。さらに、不燃物のごみ処理を含めると年間1億6000万円もの処理費用がかかっています。

また、「町民1人当たりの1か月のごみ排出量は平均20・6キログラムで、日野町はリサイクル率も県下で最も低いレベルにある」とも指摘しました。

ごみの減量化・分別の徹底・リサイクルの推進で町の財政負担も軽減すると学園生に訴えかけました。

古紙のリサイクルについては、「新聞紙の間にハガキや名刺、請求書など小さな古紙を挟んで出して、燃えるごみの減量化に取り組んでほしい」と話しました。

また、平成20年度からのごみ減量化の取り組みとして、布類の回収に取り組むことと食用油の再利用も紹介されました。布類はリサイクルされ、王子製紙の燃料に使われていること、古い食用油はバイオディーゼル燃料に精製され、ディーゼルエンジンに使えるものになることを聞き、学園生は驚いた様子でした。

ふだん聞くことができない話や質問に対して詳しく説明を聞き、学園生は明日からでも実践できるごみの減量化について取り組んでみようかと心に誓いました。

学園生以外の方も講演に参加できます ～第4回おしどり学園のご案内～

日時 7月18日(金) 午前9時30分～
 場所 町公民館
 内容 日々進化する悪徳商法について
 (講師の都合により変更することがあります)
 町公民館 (74-0212)
 問合せ 当日は町営バスを臨時運行します
 その他

グループ専門講座「健康」
 7月は、日野病院の管理栄養士を招き、栄養について学びます。学園生以外の方も気軽に参加ください。

おしどり学園 学園生募集

期間 毎月1回(おおむね第3金曜日)
 場所 町公民館
 時間 午前9時30分～午後0時30分くらい
 対象 おおむね65歳以上で年間を通して参加できる人
 専門講座 6講座(生花、手芸、料理、語る会、ゴルフ、健康)
 ラウンドゴルフ
 問合せ 町公民館(電話740212)

いにしえの道を歩き、自然を満喫

公民館体験事業「出雲街道自然観察ウォーク」

5月10日、一出雲街道自然観察ウォークと題して、日野町から岡山県新庄村まで抜ける出雲街道の中でも一番の難所、四十曲峠を歩き、自然を観察しながら街道の歴史について学びました。

当日は20人が参加し、国道181号の四十曲トンネル付近から出雲街道に入り、歴史については、町歴史研修会の牧智也会長から、街道が使

われていた時代背景などについて説明を受けました。

また、自然については、街道に茂る木々について、森林インストラクターの矢田貝繁明さんから説明を受けました。

峠にある四十曲峠と書かれた看板の前で参加者全員で記念撮影を行ったり、昼食には道中で摘んだ山菜を天ぷらにし、春の自然散策を楽



雨模様の中7*の道のりを歩きました

しみました。季節ごとの山歩きは楽しいことだと、公民館職員も満喫しました。

大人が変われば子どもも変わる

「まず大人が変わること。できることから始めよう」

高校生マナーアップさわやか運動

みなさんは「高校生マナーアップさわやか運動」をご存じですか。新聞でも活動の様子が紹介されています。

多くの大人が見本となり、あいさつ・声かけなどを行うことで青少年に影響を与え、変えていこうと町青少年育成会（柴原保明会長）も運動に参加しています。駅を利用する高校生にあいさつをするの

はもちろんですが、通勤する大人にもあいさつをして自覚を促すことも目的にしています。

この運動が始まってから高校生の乗車マナーが改善に向かっているといわれています。しかし、その反面で注目されているのは、大人があいさつをしないこと。運動に協力いただいている団体からも意見



が出ています。大人も変わる時が来ているようです。「おはよう」、「こんにちは」と明るく、さわやかな声が聞こえるまちにしましょう。

青ハト通信

空き巣に注意しましょう

鍵をかけない家が狙われる

最近、空き巣が多発しています！

狙われないような対策をとりましょう。

自分の家は大丈夫だろうと思って油断してはいけません。常に鍵をかけるなど、未然に防ぐ気持ちを持ちましょう。

確実な戸締りを

「ウチは昔から鍵なんてかけたことがないよ」…こんなことを聞くことがあります。ドロボウはその「スキ」を狙っています！

ちよつとの外出でも鍵をかける習慣を身につけましょう。近所へ回覧板を持って行く、ゴミを捨てに行くといった時にも鍵をかける。

外出する前には家全体の戸締まりを確認しましょう。1階だけでなく、2階の窓も狙われています。夜間もちろん鍵をかけましょう。

不審者の発見・通報

地域で見かけない人や県外ナンバーの車に注意しましょう。

犯行をあきらめさせる地域づくりをしましょう。

不審者を見つけたら、「何かご用ですか？」と声をかけることが未然に防ぐ第一歩です。

おかしいなと思ったら、すぐ110番！

不審者を見つけた、不審な車が止まっているなど、「おかしいな」と思ったら、警察に通報しましょう。その少しの「勇気」が犯罪を寄せ付けない地域づくりになります。

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会事務局
(町公民館 電話74 0212)